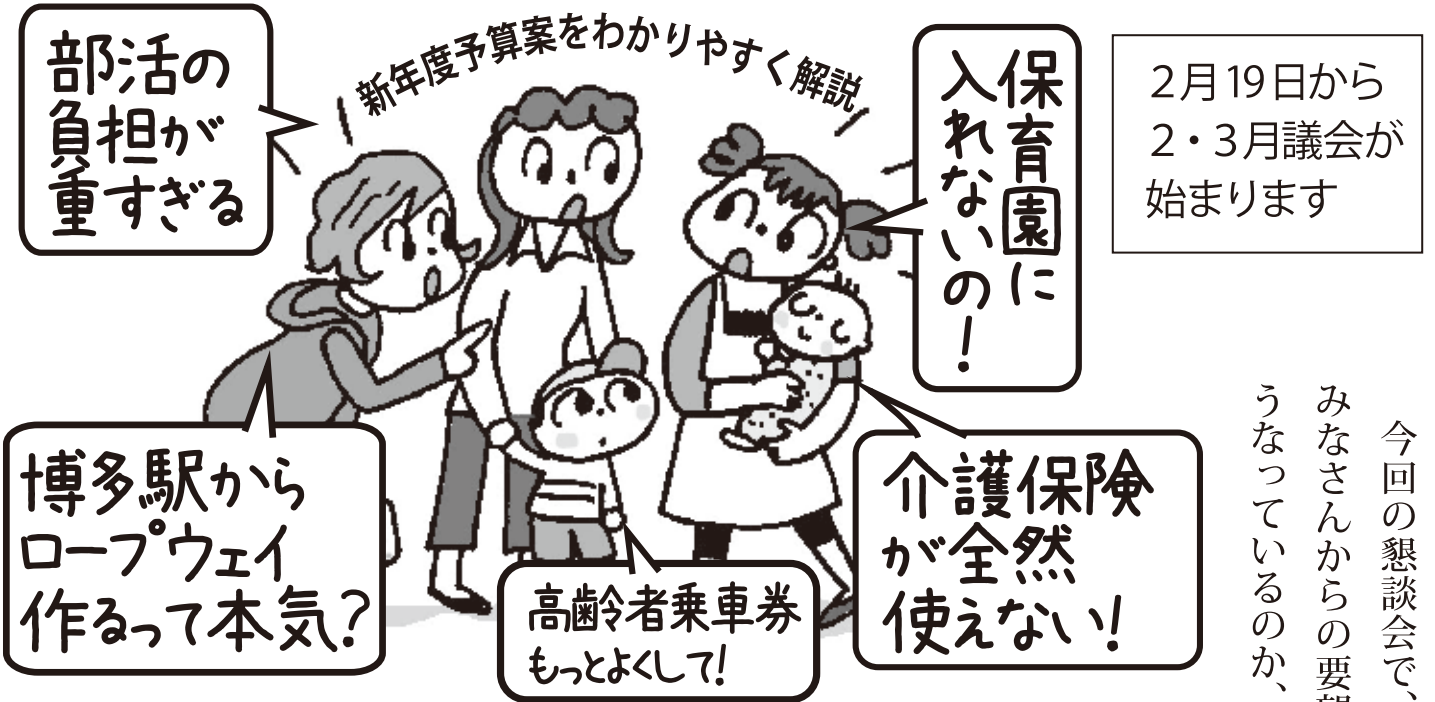


# 市政懇談会で あなたの声をお聞かせ下さい

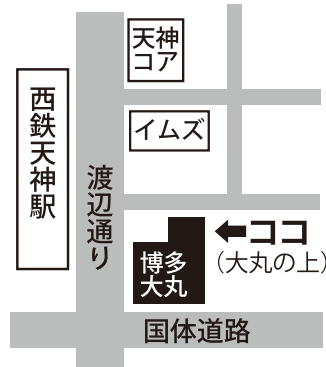


今回の懇談会で、新年度予算などを審議する2・3月議会にむけてみなさんからの要望・意見をぜひ聞かせてください。また、市政はどうなっているのか、共産党市議団からお伝えします。



午後6時半～  
天神スカイホール

※旧「福岡国際ホール」  
福岡市中央区天神1-4-1  
西日本新聞会館16F



**日本共産党** 福岡市議団

# 国民健康保険料 すえおきを答申

福岡市の国民健康保険運営協議会が1月31日に開かれ、2018年度の国民健康保険料について、すべての国保加入者にかかわる保険料（医療分と支援分）を「据え置き」とする答申を決定し、2月2日、高島市長に答申しました。

日本共産党 福岡市議団

## 引き下げへ運動広げよう

答申では、1人あたり医療分（国保の加入者の医療に使われる分）は39円減の5万2588円、支援分（国保財政から後期高齢者医療の支援にあてられる分）は39円増の1万9411円としました。これらはすべての国保加入者が対象になります。

### 介護分は 引き下げ

国保加入者のうち40～64歳が納める介護分（介護保険に使われる分）は1358円引き下げて、2万2027円としました。

また、国保加入者が死亡したとき、葬祭を行った人に対して5万円を支給していましたが、引き下げて3万円としました。

### 署名運動の反映

国保運営協議会には日本共産党から中山いくみ市議が委員として参加。

国保加入者の実態を示して、さらなる引き下げを求めました。

終了後、中山市議は「国保事業の都道府県単位化がすすめられ、保険料の値上げが各地で起きている中で、据え置かざるをえなかったのは、福岡市では30万もの引き下げ署名運動があった



が署名運動があった反映だ。答申はされたが、市が最終決定するのはこれから。さらに引き下げへ運動を広げたい」と語りました。

### 市の最終決定は

これから

予算議会で